

第7章の構成(案)

第1節 都市づくりの基本的視点

これからの都市づくりを進めていく上で重要となる3つの視点

- (1)これまでの創りあげてきた札幌の魅力・特徴を生かす視点
- (2)社会経済情勢の変化や課題に対応し、重点戦略を推進する視点
- (3)持続可能な都市を構築し、次世代に引き継ぐ視点

第2節 都市づくりの重点

都市づくりを進めていく上での重点的な取組み。

1 人口減少、少子高齢化に対応した安心で魅力ある地域の創出

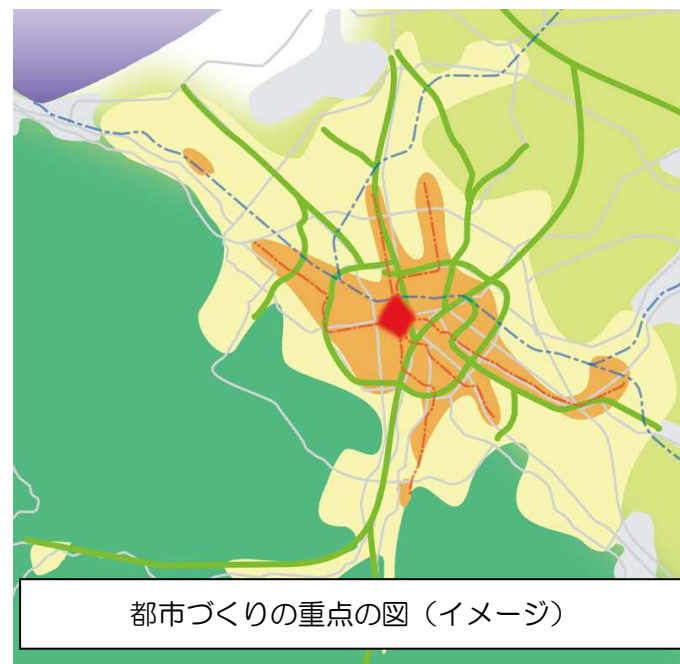
- (1)札幌らしいライフスタイルを実現する多様な地域の創出
- (2)利便性の高い地域での暮らしのニーズを支える高度利用住宅地の質の向上
- (3)ゆとりと安心のある環境を守る郊外住宅地の維持保全
- (4)暮らしや生活を支える地域拠点の形成

2 創造性を生かした経済を支える都市構造・基盤

- (1)札幌の魅力と活力を高める都心の育成
- (2)広域的連携の強化と札幌の成長を支える産業拠点の形成

3 持続可能な都市の構築

- (1)みどり豊かな都市の形成
- (2)市街化調整区域の土地利用のあり方の検討
- (3)安心して暮らせる都市の構築



都市づくりの重点の図(イメージ)

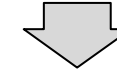
第7章の構成の考え方

第1節 都市づくりの基本的視点

これからの都市づくりを進めていく上で重要となる基本的視点を設定する

(1)札幌市の都市形成の経緯

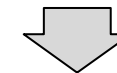
- ・開拓期以降、計画的な都市づくりを進めたことにより、総合的な交通ネットワークやこれらに対応した地域の拠点、良好な住宅地などが形成されている。
- ・市街地を取り囲む豊かな自然資源を持つ
- ・高次な都市機能と豊かな自然をあわせ持つ環境などが、札幌独自の多様なライフスタイルを創出



今後の都市づくりにおいては、既存の社会資本や札幌らしいライフスタイルを生かす視点、札幌が持つ豊かな自然環境を守り、育てていく視点が必要

(2)札幌市が直面する都市的な課題と、それを克服する重点戦略の実現

- ・人口減少や少子高齢化、生産年齢人口の減少に伴う札幌経済の衰退の恐れ、東日本大震災に伴う原発事故の発生など、大きなパラダイムの転換期を迎えている。
- ・このビジョンでは、現状認識を踏まえつつ、都市像実現のために焦点を当てるべきテーマについて、今後10年間で特に優先して取り組むべき横断テーマとして「重点戦略」を設定している。

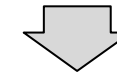


今後の都市づくりにおいては、大きなパラダイムの転換期の中で、将来の都市課題に適切に対応していく視点が必要。

今後10年間で特に優先して取り組む「重点戦略」の実現を、都市構造の面から支える視点が必要。

(3)持続可能な都市運営の必要性

- ・人口減少時代の到来や厳しくなる財政状況の中、これまで以上に効果的な都市づくり・都市運営が必要



今後の都市づくりにおいては、重点戦略を実現するために、都市づくりにおいても総合的に取り組むべき「都市づくりの重点」を設定し、重点的な施策展開を図る視点が必要

以上より、これからの都市づくりを進めていく上で重要となる基本的視点を以下のとおり定める。

■都市づくりの基本的視点

- (1)これまで創りあげてきた札幌の魅力・特徴を生かす視点
- (2)社会経済情勢の変化や課題に対応し、重点戦略を推進する視点
- (3)持続可能な都市を構築し、次世代に引き継ぐ視点

第7章の構成の考え方

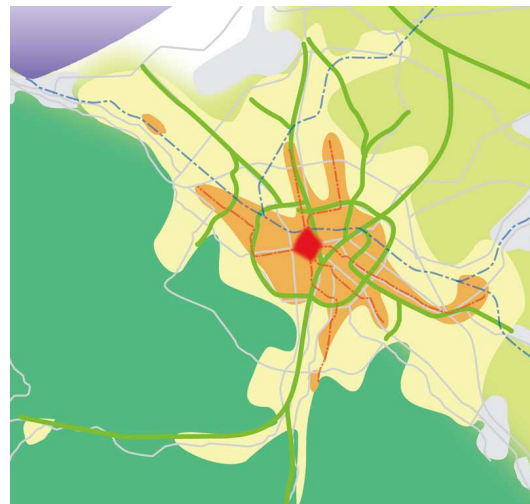
第2節 都市づくりの重点

第1節で掲げる基本的視点に基づきながら都市づくりを展開していくために、都市づくりにおいて総合的に取り組むべき「都市づくりの重点」を設定し、重点的な施策展開を図る。

基本的視点1 「これまで創りあげてきた札幌の魅力・特徴を生かす視点」

【都市づくりの方向性】

これまでの都市づくりで築いてきた札幌の都市構造の基本的枠組みを生かしながら、各地域が持つ多様な特性に応じた都市づくりの重点を展開していく。



■都市構造の基本的枠組み

- 都心
- 拠点
- 高度利用住宅地
- 郊外住宅地
- みどり、オープンスペースネットワーク（環状グリーンベルト、コリドー）
- 交通ネットワーク

基本的視点2 「社会経済情勢の変化や課題に対応し、重点戦略を推進する視点」

【都市づくりの方向性】

初めて札幌市が経験するパラダイムの転換期（人口減少、東日本大震災）という時代背景の中で、様々な都市的課題に対応しながら都市像を実現するために今後10年間で特に優先して取り組む「重点戦略」の実現を、都市構造の面から支える都市づくりを進める。

■都市的課題

- 人口減少、少子高齢化の進展
- 特に生産年齢人口の減少、単身高齢者の増加
- 生産年齢人口の減少に伴う札幌の経済規模の縮小が懸念
- 脱原発依存社会、低炭素社会の構築が必要
- 拡大成長期に整備された都市基盤の維持保全が必要 など

■重点戦略

- 地域：つながりと支え合いによる安心で魅力ある地域づくり
- 経済：創造性を活かした産業群の育成
- 環境：持続可能な都市を構築するスマート札幌の推進

基本的視点3 「持続可能な都市を構築し、次世代に引き継ぐ視点」

【都市づくりの方向性】

将来に渡って持続可能な都市運営を進め、次世代に良好な都市資産を引き継いでいくため、重点的に取り組むべき「都市づくりの重点」を設定し、官民協働により積極的な施策の推進を図る視点が必要

■施策の重点化との必要性

- 持続可能性を重視し、次世代に良好な資産を引き継いでいくための取組みの重点化
- 基礎的な都市基盤施設の確保から、都市の魅力と活力を高め、生活の質の向上を支えることへの都市づくりの課題の転換
- 人口減少・少子高齢化の進展に伴う、厳しい財政状況への対応
- 官民の多様な資源との連携
- 目指すべき価値観の共有と明確な目標の実現に向けた協働の推進

3つの視点に基づき、「都市づくりの重点」を設定

「都市づくりの重点」の構成要素

- これまで形成されてきた住宅市街地の機能を維持しながら、札幌らしい多様なライフスタイルを実現する住まいの環境を創出
- 既存の交通ネットワークを生かしながら、道内各都市との広域的連携を強めるとともに、国際的なアクセシビリティを意識した総合的な交通ネットワークの強化
- 札幌の環境的優位性を活かしたみどりの効果的な誘導・創出
- 道都としての都心の中核機能の集積と魅力・にぎわいづくりの一体的な展開
- 市民の創造活動の拠点にふさわしい都心における新たな交流空間の形成
- 北海道・札幌の魅力や機能を効果的に活用し、交流人口の増加や定住人口の減少抑制に繋げるまちづくりの推進
- 市民の自立した生活を支える、生活利便性を確保する複合市街地の形成（歩いて暮らせるまちづくりの展開）
- 災害に強く、エネルギー効率の良い都市構造の強化
- 生産年齢人口の減少下における、札幌の経済成長を支える産業拠点の形成や広域的連携の強化
- 拡大成長期に急速に整備された都市基盤などの適切な維持・保全

「都市づくりの重点」

- 1 人口減少、少子高齢化に対応した安心で魅力ある地域の創出
 - (1)札幌らしいライフスタイルを実現する多様な地域の創出
 - (2)利便性の高い地域での暮らしのニーズを支える高度利用住宅地の質の向上
 - (3)ゆとりと安心のある環境を守る郊外住宅地の維持保全
 - (4)暮らしや生活を支える地域拠点の形成
- 2 創造性を活かした経済を支える都市構造・基盤
 - (1)札幌の魅力と活力を高める都心の育成
 - (2)広域的連携の強化と札幌の成長を支える産業拠点の形成
 - (3)北海道・札幌が持つ魅力を活かし・高めることによる交流人口の増加
- 3 持続可能な都市の構築
 - (1)みどり豊かな都市の形成
 - (2)市街化調整区域の土地利用のあり方の検討
 - (3)安心して暮らせる都市の構築